



おとり

令和7年2月19日(水)

千曲市立埴生中学校

学校だより No. 10

授業参観・PTA総会(2/4)ありがとうございました

2月4日(火)に今年度最後の授業参観を実施いたしました。ご多用中にもかかわらず、多くの保護者のみなさまにお越しいただき、ありがとうございました。

学年のまとめの時期ということもあり、1年生と2年生は、1年間取り組んできた総合的な学習の時間の発表をご覧いただきました。1年生は、姨捨の棚田で光る「ペットボトル」の制作や1日総合での学び、2年生は7月に3日間実施した職場体験学習の様子を中心に発表をしました。また、3年生は、自分が将来めざす姿について決意する立志式の様子をご覧いただきました。子どもたちの成長の様子はいかがだったでしょうか。

授業参観後には、事前に配信させていただいた資料をもとに、学校評価アンケートの結果説明会を実施いたしました。子どもたちや保護者のみなさまの貴重なご意見を、今後の学校運営に活かして参りたいと思います。

説明会の終了後、PTA総会が実施され、今年度の事業と会計の中間報告、新年度役員の承認が行われました。令和6年度役員のみなさま、これまで大変お世話になりました。ありがとうございました。



↑ 総合的な学習の時間の発表(1・2年生)



↑ 立志式の様子(3年生)

生徒の願いを取り入れた学校運営に向けて 新生徒会役員による交流集会(1/29)

3年生から引き継いだばかりの2年生の新生徒会役員が中心となり、企画・運営した交流集会が実施されました。この日の集会の内容は「ジェスチャー伝言ゲーム」です。学級や学年の枠を超えた交流を深めるために工夫を凝らしながら、頼もしく進行をしてくださいました。全校生徒も、楽しみながら交流を深めることができました。交流集会は、先日実施した学校長と生徒との対話型オンライン集会「スクールミーティング」でも、ウェルビーイングな埴生中にしていくために生徒からの要望が多い取り組みです。要望をもとに、今年度から定期的の実施しています。来年度も継続して取り組むことができればと考えています。

生徒の願いを取り入れた学校運営を推進するため、学校長と生徒会役員による「ランチミーティング」も実施しました。給食を食べながら、日頃感じている学校生活への思いを交換し合うことができました。新年度の学校運営の立案に向け、貴重な機会となりました。



↑ 交流集会の様子



↑ ランチミーティングの様子(校長室)

子どもたちの学びの様子から

I 学年性教育講演会(2/13)

本校では、各学年年1回、性教育講演会を実施しています。2月13日には、篠ノ井総合病院の助産師様を講師に1年生対象の性教育講演会を実施しました。講演会では、生命誕生の神秘や喜び、将来自分が健康ですごすために、中学生期の体作りが大切であることなどについて、実体験をもとにお話しいただきました。また、本物の赤ちゃんと同じ大きさの人形を抱っこさせていただき体験もさせていただきました。



↑ 1年生性教育講演会の様子

調理実習の様子より

校舎3階東端に調理室があります。この日は、3年生が卵焼きの調理実習に取り組んでいました。シンプルな調理ですが、味付けや火加減、巻き方など、ポイントとなる点が多く奥深い料理です。仲間と協力をしながら、慎重に調理する姿が見られていました。中学校で学んだことを、これからの生活の中でもいかして行ってほしいと思います。



↑ 3年生調理実習の様子

今年度も多くの地域ボランティアのみなさまにお世話になりました

今年度も多くの地域ボランティアのみなさまにご協力をいただきました。みなさまのおかげで、子どもたちの学校生活を充実させることができました。以下、その活動の一部を紹介させていただきます。

フラワーアレンジメント教室は、本校の敷地内にある市教育支援センター（ひまわり教室）で、実施していただきました。参観日やおとし祭の際に、生徒昇降口や来客用玄関に飾られ、華やかな雰囲気を醸し出してくれました。



↑ フラワーアレンジメント作品

書写指導では、国語の書写（習字）の授業での指導をしていただいています。一人一人の筆の運びをていねいに見てくださるあたたかいご指導でした。

放課後学習ボランティアのみなさまには、水曜日の放課後学習で、希望生徒への学習支援をしていただきました。今年度は、高校生にもお手伝いをしていただきました。

部活動指導は、野球部、サッカー部、ハンドボール部、男子バスケットボール部で指導のお手伝いをしていただいております。子どもたちの技能の向上に貢献していただきました。



↑ 書写指導の様子

ベルマーク支援は、生徒会活動で生徒が各家庭から持ち寄った大量のベルマークの仕分け作業を、地域ボランティアの方にご協力をいただいております。今年度も、これまで整理してきたベルマークを、生徒の学校生活向上につながる物品と交換することができそうです。

家庭科支援として、家庭科のミシンの授業を中心に生徒への支援をしていただいています。ミシンの使い方や裁縫について、豊富な経験をもとにやさしく教えていただき、子どもたちの将来につながる学びへと発展させることができます。

紹介させていただいた活動以外にも、授業での講師や、地域学習で現地で子どもたちにご指導いただくなど、多くのみなさまにお世話になりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

文責：溝口俊一（教頭）